

2023 年度 事業報告書

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

2023年度 事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

1. 視聴覚障がい者の日常生活の支援 及び 生活支援の援助者養成

(1) 手話放送番組の制作支援

日本テレビ「NNNニュースサンデー」(毎週日曜午前6時15分～6時30分、全国28局ネット)の手話放送に出演する手話通訳士の派遣事業。手話通訳を画面右下にワイプで挿入しています。2023年度も東京都聴覚障害者連盟から推薦を受けた4名の手話通訳士が、ローテーションで年間52回の手話放送に携わり、聴覚障害者の方々への情報サービスに努めました。

(2) 点字カレンダーの製作及び無料配布

点字カレンダーは、1976年から制作を始め、全国の視覚障がい者に無料で配布している基幹事業です。点字カレンダーには、月ごとに美しい写真と点字でも表記した写真の解説文が添付されており、晴眼者と視覚障がい者とのコミュニケーションを深めていただく願いが込められています。

2023年度は「動物たちの四季」をテーマに2024年版の写真付き点字カレンダーを製作し、日本点字図書館の協力で、主に関東の視覚障がい者学校、視覚障がい者養護施設、視覚障がい者福祉関係団体、在宅視覚障がい者に約2万部、また、日本テレビネットワーク各社の協力を得て、関東以外の全国各地で別途約2万部を無料配布しました。

(点字製作：日本点字図書館 写真撮影：岩本圭介氏 デザイン：神馬俊二氏)

(3) ～視覚障がい者に向けて～

ラジオ番組からの情報発信と「音声図書・日テレ小鳩文庫」の製作

ラジオ番組「小鳩の愛 ～eye～」は視覚障がい者の日々の生活を支援していく上で参考となる情報を発信し、視覚障がい者と晴眼者が共に生きていける社会の実現を目指す番組です。10年目を迎えた2023年度もアール・エフ・ラジオ日本と富山県をカバーする北日本放送(KNBラジオ)で、土曜日午前8時15分からの15分間(KNBでは日曜日午前7時15分から)毎週放送しました。メインパーソナリティは、日本テレビのアナウンサーが務めており、8月に杉上佐智枝アナウンサーから杉野真実アナウンサーにバトンタッチしました。

また、番組の連動企画として2022年に製作を始めた視覚障がい者のための「音声図書」では、2022年度の「名犬チロリ」(大木トオル)に続いて、日本テレビ・岩本乃蒼アナウンサーの朗読による「さすらい猫ノアの伝説」(重松清)、藤田大介アナウンサーの朗読で「十人十鉄の鉄道話 鉄道愛を語る」を完成させました。これらは日本点字図書館の音声図書ネットサービス「サピエ」等を通じて提供しています。現在は杉野真実アナウンサーの朗読で「必ずできる、もっとできる。」(駒澤大学陸上競技部監督 大八木弘明)を製作中です。

(4) 「障がい(視聴・聴覚)のある生徒のための進学支援制度」による給付金

障がい(視覚・聴覚)のある生徒で修学の意欲と能力があるにもかかわらず、経済的な理由で大学や専門学校、短期大学への進学が困難な生徒に対して進学時に必要な経費を支援する制度。2023年度は、2022年度の審査で内定者とした19名のうち進学した17名に対して一律80万円の支援金を給付しました。2023年度に内定者とした23名のうち、志望校に合格し実際に進学した学生に対しては、2024年4月の給付となります。

なお、2022 年度からスタートしている制度ですが、内閣府より公益目的事業としての追加承認を改めて申請するよう指導を受け、2月7日付けで正式に認定されました。

(5) 手話スクールの開講と手話の普及事業

「手話スクール」は、手話ができる人を増やし、手話を通じたコミュニケーションによって聴覚障がい者への生活支援に貢献していただくことを目的に、1975 年より開講している授業料無料の講座です。ここ数年は、コロナの影響によりスケジュール等の変更を余儀なくされましたが、2023 年度は、4年ぶりに4月から開講し、入門編・基礎編の1、2年生、上級編の3年生の約120人が参加して、土曜日に神田やお茶の水の会場で年間25回の授業を行いました。

講師：	1年生	2年生	田原 直幸
	3年生		久住呂 幸一
助手：	1年生	2年生	村山佳子、安田育子
	3年生		黒澤るみ子

2. 視聴覚障がい者を支援する団体への助成

(1) 角膜移植・再生医療への助成 (チャリティイベントは、コロナのため休止)

助成先； 移植・再生医療を支える会

視覚障がい者治療への貢献を目的に、大学病院での角膜移植・再生医療およびアイバンクの提供促進のためのチャリティイベント「PARTY for VISION」へ助成してきましたが、コロナ感染防止のため、3年連続休止となりました。

(2) 聴覚障害児の学校への助成

助成先：学校法人日本聾話学校

東京都や長野県で行われた夏期郊外学習への助成を行いました。この郊外学習は、耳の不自由な子供たちが、家族と離れ、子供同士の生活をする事で、団体生活へのスムーズな順応と身辺自立を図ることを目的に行われるもので、今回は幼稚部から中学部までの児童・生徒約 50 人が参加しました。

(3) 視覚障害者福祉DVDの製作及び生活支援活動への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

1) 視覚障害者福祉ボランティア指導用DVD制作への助成を実施。

2023 年度は、「視覚障害者の社会福祉施設～日本盲人社会福祉施設協議会 70 年の活動～」をテーマにしたDVD制作への助成を行いました。

2) 下記 視覚障害・就労支援者講演会の出張旅費への助成

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

NO	開催日	場所・内容	対象者	内容	備考
1	7月15日 ～ 7月17日	(金沢市) 視覚リハビリテーション学会 全国大会	職員・障害者・ ボランティア	福祉講演 映画	ガイドブック 配布
2	9月14日 ～ 9月15日	(大分市) 日本セルフセンター 全国大会	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃
3	10月12日 ～ 10月13日	(大阪市) 視覚障害・就労支援者講習会 日本ライトハウス	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃
4	2024年 2月16日 ～ 2月17日	(神戸市) 視覚障害・就労支援者講習会 認定NPO法人 神戸アイライト協会	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃

3) 福祉映画利用相談及び貸出諸費への助成

4) 貸出ビデオ更新費への助成

(4) 「盲人との接し方」ガイドブックの製作への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

小冊子「視覚障害者に接する人びとのために」は視覚障がい者との接し方をイラストを交えて分かりやすく解説したもの。1万部を製作し、視覚障害者の福祉講演会や映画会会場のほか、都道府県・市町村役場の福祉課にも配布しました。

(5) 点字技能検定事業（検定試験）への助成

助成先：日本盲人社会福祉施設協議会

日本盲人社会福祉施設協議会が主催する点字技能検定試験への助成です。検定試験の目的は、点字関係職種の専門性と認知度を高め点字の普及と点字の質の向上を図ることです。合格者は、厚生労働省が認定する「点字技能師」の資格を取得し、視覚障がい者施設・団体、専門学校等の講師として活動しています。

2023年度の第23回点字技能検定試験は、11月12日（日）に、東京、京都、福岡、仙台の4会場で行われました。

(6) 視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成

助成先：全国盲老人福祉施設連絡協議会

全国の盲老人ホームの職員や在宅福祉に携わるヘルパー等を対象に、視覚障がい者のためのケア技術向上や専門サービス技術の習得を目的とした講習会にかかる費用の一部に使用されます。コロナ禍による休止が続いていましたが、10月に奈良県で4年ぶりに開催されました。

(7) その他、下記助成を実施

- ・聾者の団体が主催する野球大会に優勝・準優勝の表彰楯を贈呈

助成先： 全日本ろう社会人軟式野球連盟

- ・視覚障がい者が参加するブラインドテニス大会への助成

助成先： 日本ブラインドテニス連盟

- ・チャリティー映画会開催に助成

映画のチケット購入

助成先： 社会福祉法人日本聾話学校

- ・本間一夫文化賞に助成

本間一夫賞とは、日本点字図書館創立者の本間一夫氏（故人）を記念し、視覚障がい者の文化の向上に関する分野で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰するために設けた賞。

記念品代の助成

助成先： 社会福祉法人日本点字図書館

- ・東京都盲人福祉大会に助成

助成先： 公益社団法人 東京都盲人福祉協会

- ・失明原因の解明と失明予防・知識の普及と啓発

助成先： 公益財団法人 日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先： 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

など視覚・聴覚障がい者のための生活支援や支援団体への助成を行いました。

3. 文化及び芸術に関する各種の公演、講座等

(1) 「グランプリ・コンサート 2023」 (公財) 日本室内楽振興財団との共催

若手演奏者の登竜門「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」は、コロナのために休止が続きましたが、2023年5月、4年ぶりに第10回コンクールが実施されました。その第一部門弦楽四重奏で優勝した「クアルテット・インダコ」を招聘して「グランプリ・コンサート2023」を4年ぶりに開催しました。

開催日 11月19日(日) 浜離宮朝日ホール(東京)

(2) 「想いでの^{うた}詩コンサート2023」 企画 主催

世代やジャンルを超えて歌い継いでいきたい日本や海外の名曲を送り届けるコンサート。全国各地を訪問し、地元の少年少女合唱団がプロの歌手と共演することが特色です。岩手県北上市で開催したコンサートでは、洗練された歌声で根強い人気を誇る夫婦デュオ「2VOICE」が、地元の小中学生「北上ミューズコーラス隊」と共に素晴らしい歌声を届けました。また、2023年度は通常のコンサートに加え、スピノフ・コンサートを東京都で2回開催し、好評をいただきました。

開催日 4月22日(土) 番町の森(千代田区二番町)

5月14日(日) 盲養護老人ホーム「聖明園」(東京・青梅市)

10月7日(土) 北上市文化交流センターさくらホール(岩手県)

(3) 「スクールコンサート」 企画 主催

その1) 視覚支援学校・盲学校でのスクールコンサート

2022年度、日本テレビ小鳩文化事業団創立10周年の記念事業の一環として、全国の視覚支援学校・盲学校で行ったコンサートを2023年度も継続して開催しました。視覚に障がいのある生徒の皆さんにプロのライブ演奏を通して音楽の楽しさを肌で感じていただきました。

開催した学校

10月18日 長野県長野盲学校 11月28日 群馬県立盲学校(前橋市)
10月27日 札幌視覚支援学校 12月15日 茨城県立盲学校(水戸市)

その2) 中学生を対象にしたスクールコンサート

中学生をメインの対象に一流のプロ音楽家の演奏にライブで触れる機会を創り、時代やジャンルを超えて様々な名曲を楽しんでもらうコンサート。聴くだけでなく、吹奏楽部や合唱団がプロの演奏家や歌手と共演する「参加型」であることが大きな特徴です。2023年度も鎌ヶ谷中の皆さんと共に開催しました。

開催日 2024年2月8日 鎌ヶ谷市きらりホール(千葉県)

花岡詠二スキングオールスターズと鎌ヶ谷中学校吹奏楽部が共演

(4) 「しょうみょう 聲明 こうえん 公演」 企画 主催

日本音楽の源流といわれ、単旋律音楽に大きな影響を与えた仏教音楽「聲明」と西洋の楽器がコラボする日本テレビ小鳩文化事業団企画のオリジナルなコンサート。「音の饗宴」をテーマに荘厳な読経の響きと美しく幻想的な音楽の世界が構築され好評をいただきました。

開催日 2024年2月10日(土) 晴海 第一生命ホール(東京)

4. 文化及び芸術に関する事業、活動への助成

(1) 「第75回 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」に対する助成

助成先： 日本学生協会基金（読売新聞協力）

1949年という戦後間もない時期に、日本の将来を見据えて立ち上げられた英語弁論大会。中学生の英語力と弁論能力を高め、国際交流のこれからの担い手を育成することを目的とする英語弁論大会への助成を行いました。